

“卓越研究領域の育成・先鋭化”と“グッドプラクティスの全学展開”による**卓越分野増幅型経営改革金沢モデル**の展開

金沢大学の
経営改革ビジョン

大学が有する経営資源を最大限に活用し、社会における「金沢大学」のプレゼンスを向上させ
社会からの期待に応え投資を呼び込む“**社会とのサーキュレーション**”の確立を目指す

観点 研究組織改革によるインパクト

卓越した研究成果の創出により、
社会におけるプレゼンスが向上！

フラグシップ研究所

金沢大学を牽引 世界最高水準の研究 プレゼンスの向上

ナノ生命科学研究所

2017年度
設置



生体分子を直接観察、
分析、操作する
ナノ内視鏡技術を開発!

2017年度
採択!!



ナノマテリアル研究所

2018年度
設置

新規ナノ材料デバイス開発における
ブレイクスルーを目指す!



世界初 反転層型ダイア
MOSFETの
動作実証に成功
「究極の半導体」**ダイヤモンド**



バイオマス由来の燃料、
化成産品、複合材料の精製

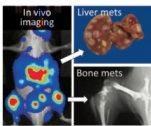
がん進展制御研究所

附置研究所唯一の「がん研究」特化研究所



2010年度
認定!!

共同利用・共同研
究拠点としてがん研究
を牽引



高度モビリティ研究所

2021年度
設置

産学官連携による
次世代のモビリティ
社会の実現を目標

自動運転技術の
レベル3、4を研究!

自動運転を可能とする**運転知能**の開発



ナノ生命科学 ナノマテリアル
がん進展制御 高度モビリティ

日本経済団体連合会が注目
数十名の視察団を派遣

令和3年11月、日本経済団体連
合会の古賀審議会議長を含む約30
名が四つの研究所を視察。



ナノ生命科学 ナノマテリアル
がん進展制御 高度モビリティ

企業から数十億円の投資
新研究所建設を予定

令和2年12月、
株式会社ダイセルと
「新産学協働研究所
(仮称)」の整備等
に関する覚書を締結
し、建設に着手。



ナノ生命科学

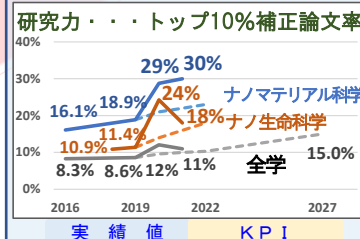
研究紹介動画の視聴が急増

社会ニーズに対応した情報を発信。
エクソソームを採り上げた研究紹介
動画等の再生回数が急増。

ナノ生命科学 ナノマテリアル

トップ10%補正論文率が上昇

令和2年度、令和3年度ともに
KPIを上回る。
順調な研究力の強化とプレゼンス
の向上を実現。

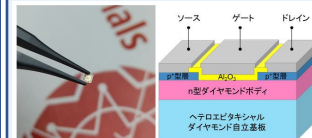


ナノマテリアル

世界初! 動作実証に成功

令和2年12月にダイア
モンド自立版を用いての
動作実証に成功し、ダイ
ヤモンド半導体の実用化
に前進。

ダイヤモンド半導体に係る
外部資金も増加!

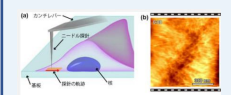


ナノ生命科学

世界初!
ナノ内視鏡AFM

令和3年12月、
生きた細胞の内部を
ナノレベルで直接観
察できる原子力顕微
鏡技術を開発。

がん等の悪性化メ
カニズムの解明に期
待!



研究を **Back UP!** し、
Step UP! させること
で研究力を強化し、
世界レベルへ育て上げる

大型外部資金の獲得

2018年度

内閣府総合科学技術・イノベーション会議 (CSTI) の戦
略的イノベーション創造プログラム (SIP) 第2期に採択

Step UP!

新学術創成研究機構 設置

2014年度

自動運転ユニット

自動運転ユニット 国公私立大学として
初の市街地公道走行実証実験を開始

Back UP!

“卓越研究領域の育成・先鋭化”と“グッドプラクティスの全学展開”による卓越分野増幅型経営改革金沢モデルの展開

金沢大学の 経営改革ビジョン

大学が有する経営資源を最大限に活用し、社会における<金沢大学>のプレゼンスを向上させ
社会からの期待に応え投資を呼び込む“**社会とのサーキュレーション**”の確立を目指す

観点 経営基盤を強化するための体制

経営改革体制

経営戦略室

- 学長
- 理事
- 副学長（国際、産学連携担当）

- ▶ 大学情報戦略室を再編し、学長直下組織に再編
- ▶ データ分析に基づく本事業の戦略的な運営
- ▶ 大学全体の経営改革

経営戦略支援室

- 理事
- 教育政策室次長
- 総務、財務、研究・社会共創推進、学務、国際の各部長
- 学友支援室長、基金室次長
- URA、若手事務職員
- ◆ マッチングコーディネーター

- ▶ 経営戦略室の支援
 - データ収集・分析 等
- ▶ 企業等との連携等の支援

マッチングコーディネーター による共同研究の創出

令和3年2月から、大手民間企業の管理職経験者をマッチングコーディネーターとして採用。URAと協働し、本学の研究シーズと企業ニーズのマッチングをミッションとしている。令和2年度には18件、令和3年度には130件の企業等に赴き、マッチングに向けた活動を展開。

経営戦略支援室員 による共創活動の創出

令和3年に、12の業界団体、2自治体に赴き、共創活動に向けた活動を展開。

企業や大学の垣根を越えた、 産学官金の連携体制が確立！

北陸未来共創フォーラム

北陸地区の国立4大学と、北陸の多様な企業・諸団体・行政機関等とがフィジカル空間・サイバー両空間で協業する**北陸産学官金共創システム**を構築

- 時代に応じ変容する大学の在り方や地域の未来ビジョンを見据え、**産学官金**で地域の課題を対話・共有し地方創生に取り組む
 - ▶ 第一次産業から第二次産業、第三次産業まで、**様々な産業・分野が集う**出会いの場の提供
 - ▶ **産学官金が連携した**異分野融合や新規事業の創出
 - ▶ **産学官金が連携した**人材育成に係る支援 等

【組織構造】

- フォーラム会長 北陸経済連合会会長
- 常任幹事 国立4大学（富山、金沢、福井、JAIST）
- 企業代表幹事 分科会代表企業
- 目標・課題に応じた分科会を設置

3大学“マルチリンク共創プラットフォーム”

- ▶ 3大学が、独自性・独立性を維持しつつ柔軟に連携
- ▶ 研究力強化、経営改革などを実施



卓越研究分野を選定し、
設備整備等の支援

研究分野ごとに**3大学連携**で研究を実施

富山 物質化学・材料分野

金沢 スマートモビリティ技術分野

福井セキュア電磁エネルギー分野

“卓越研究領域の育成・先鋭化”と“グッドプラクティスの全学展開”による卓越分野増幅型経営改革金沢モデルの展開

金沢大学の
経営改革ビジョン

大学が有する経営資源を最大限に活用し、社会における「金沢大学」のプレゼンスを向上させ
社会からの期待に応え投資を呼び込む“**社会とのサーキュレーション**”の確立を目指す

観点 獲得したリソースの戦略的配分

獲得した資金を活用した
研究の強化方策を確立！

大学の戦略別に支援を行う様々な学内COE支援制度

研究分野、目的・課題、大学の戦略を掛け合わせ、効果的な予算規模や期間を設定し
スピード感のある研究力強化を図る。
特に社会実装性や大学・研究の特色を意識した研究分野への支援を実施。

支援区分	海外連携支援	知の社会共創支援	研究の拠点化・先鋭化支援			社会実装・外部資金獲得増支援		
支援プロジェクト名	燦燈 SANTO	秀峰 HOZUMINE	自己超克 JIKOCHOKOKU	先魁 SAKIGAKE	超然 CHOZEN	Tactic1 “先鋭分野 成長戦略”の早期化	Tactic2 複数分野 並行投資による“3D 成長戦略”の展開	
目標	国際共同研究ネット ワーク形成による研究 の加速	「総合知」による新 しい知見や新技術の 創造、 社会実装	従来の概念を超える 新たな創造やイ ノベーション	優位性のある学術領域を中核とした 世界 的な研究拠点の形成		優位性のある学術領域 を中核とした研究機能 のより一層の充実・強 化の早期実現	新たな先鋭分野への 成長を早期化	
支援対象	国際研究ネットワ ークに十分にアクセス できていない研究	多様性に富む知見で 協働する「共創の基 盤」となる研究	“ 尖っている ”研究 (者)	世界的研究拠点形成に資する研究		社会実装と外部資金の獲得増加 の早期実現に 注視したもの		
研究体制	少人数型	個人型	個人型or少人数型	グループ型		グループ型	グループ型	
支援件数	R3	9件 (R3採択分)	5件 (R3採択分)	6件 (R2採択分)	5件 (R2採択分)	3件 (R1採択分)	5件 (R2採択分)	7件 (R2採択分)
	R2	-	-	6件 (R2採択分)	11件(R2採択分5件, H30採択分6件)	3件 (R1採択分)	5件 (R2採択分)	7件 (R2採択分)

“社会との
サーキュレーション”

獲得リソースを
多様な研究分野へ
戦略的に支援

社会の期待に応え
外部資金を獲得

人文、理工、医薬、
融合等の分野の
研究成果の創出

研究の成熟度、社会のニーズ、大学が有する
強み等を踏まえ、戦略的・組織的に
状況に合った支援を展開



図：研究戦略のイメージ